

令和4年度NPO法人つくば日中協会「日中友好忘年会」が開催されました。

令和4年12月10日に、つくば市「老人福祉センターとよさと」にて、特定非営利活動法人つくば日中協会主催「日中交流忘年会」が開催されました。本忘年会には、参加者は協会会員23名と筑波大学中国人留学生14名で、来賓として、つくば市市長公室国際都市推進課の岸田課長、筑波大学中国人留学生学友会の彭斉家会長、KEKに出張中の中国科学院大学の張小威教授にお越しいただき、合計40名が参加しました。参加者の皆さんの会場入館にあたり、コロナ感染予防のために3回のワクチン接種証明書またはPCR検査結果陰性証明書の確認、検温を実施しました。参加者数も例年の半分に限定されました。



午前中の餃子づくり大会の様子とお料理

9時半に受付を開始し、午前の部は10時から本格的な「餃子づくり大会」を楽しみました。受付では由布理事と若山会員が名簿確認や検温、抽選カード配布など忙しく対応しました。

会員の中国人の皆さんの本場中国仕込みの腕で、参加者の方々に餃子

の具と餃子皮の作り方、そして包み方が指南され、参加者全員で本場の餃子を作りました。曾監事は食欲を刺激する香を撒き散らしながらやはり本場の特製餃子タレを準備してくれました。作った餃子の数は560個、皆さん大忙しでした。また川村理事が用意してくれた「おしるこ」や「けんちん汁」も美味しくて大好評でした。

12時から午後の部の交流会が青木副理事長兼事務局長の開会言葉よりはじまり、唐理事長から日中交流忘年会の歴史や思い出など素晴らしい挨拶がありました。また参加できなかった



つくば日中協会
唐理事長挨拶

つくば市市長公室
岸田国際都市推進課課長

筑波大学中国人留学生学友会
彭会長

当協会名誉会長の五十嵐立青つくば市長からは丁重なメッセージを頂戴し、岸田国際都市推進課課長から代読・ご披露いただきました。続いて、中国人留学生会の彭斉家会長の挨拶があり、杜常務理事の発声にてアルコール無の乾杯を行いました。

余興では、中国語クラスの初級コースから中国漢字クイズ、中級コースの皆さんの中国語劇「ちびまる子」、大変な盛り上がりを見せました。さらに、留学生の皆さんからは、中国語や日本語のカラオケが熱唱されました。会員からは、青木副理事長のピアノ演奏、唐理事長の美声熱唱、飯田監



参加者の皆さんからの熱い余興が沢山ありました！！

事の日本古典語りがあり、意外性への盛り上がりがありました。まだまだ、飛び入りの余興が飛び出しそうでしたが、時間が足りなくなってしまい、来年の忘年会に繰り越していただくことになりました。既に、次回忘年会での余興予約を数件受け付けてしまいました。

最後に、抽選会を行い、8名の方が景品（クオカード）に当選なさいました。大変な盛り上がりにより、終了予定の3時に全員で記念写真撮影を行い、令和4年日中友好忘年会は好評のうちに閉会になりました。



写真については、すべて掲載できませんことをご容赦ください。